



▲普段は入ることができない管制室を見学。色々な機材があり、興味津々

管制塔見学や気球搭乗などにぎわう  
～第10回大館能代空港、スカイフェスタ～  
空の日・空の旬間を記念する「空港スカイフェスタ」が9月15日、大館能代空港で開催され、多彩なイベントでにぎわいました。  
ターミナルビル発着ロビー前では、よさこいチームの「二ツ井恋舞」が迫力ある演技を披露。また、飛行場内をバスで巡る「空港探検隊」や、飛行機の牽引車など「空港で働く特殊車両の展示」、熱気球搭乗体験なども行われました。  
人気の高かったのが「管制塔見学」だ。管制塔の最上階に360度見渡せる管制室があり、高さは地上約23m。見学者は、普段入ることができない管制室に興味深げに見学していました。また、航空管制官が管制塔での仕事内容を説明し、見学者は興味深く聞き入っていました。



▲子どもたちはゲーム感覚で食事の大切さを学びました

朝ご飯食べない子はいないネイガー  
～JAあきた北央、食農教育子ども教室～  
JAあきた北央の「食農教育子ども教室」が9月17日、米内沢保育園で行なわれ、園児が超神ネイガーショーなどを通して食の大切さを楽しく学びました。  
この教室は、幼児期における食育をテーマに行われ、米内沢・浦田・前田保育園の園児及び保護者など約150人が参加しました。  
イラストを見ながら普段食べている食物を赤・黄・緑に分類し、それぞれをバランス良く食べることを学びました。続いて行われた超神ネイガーショーでは、子どもたちの大声援を受けて敵を倒したネイガーが「朝ご飯は一番大切なので、好き嫌いをせず、毎日しっかり食べましょう」とメッセージを送ると、子どもたちは元気に応えていました。



▲日頃の訓練の成果を競った警察犬奥羽日本訓練チャンピオン決定競技会

警察犬の能力を競う  
～警察犬奥羽日本訓練チャンピオン決定競技会～  
日本警察犬協会秋田県支部(佐々木幸司支部長)主催の警察犬奥羽日本訓練チャンピオン決定競技会が9月7日、北欧の杜公園で開催され、訓練の成果を競いました。  
大会には、東北各地と新潟県から訓練士、指導士と113頭のシェパードやラブラドルなどの警察犬種が参加し、プロ(訓練士)とアマチュア(一般愛犬家)の部に分かれて、匂いをかぎ分ける「選別」、特定の人の足跡を追う「追及」、指示のとおりに行動する「服従」など、それぞれを組み合わせた19種目の課題に臨みました。出場した犬は、止れ「座れ」「伏せ」「飛べ」などの指導士の指示のとおりに行動し、日ごろの訓練の成果を発揮していました。



▲避難指示を受け、クウンス森吉に避難する皆さん

1年前の豪雨災害を教訓に  
～前田駅前自治会の防災訓練～  
前田駅前自治会(山田金成会長)の防災訓練が9月17日、同自治会内で行なわれ、83世帯中77世帯、約110人が参加しました。  
この訓練は、ちょうど1年前の豪雨災害を教訓に、自治会内の連絡体制の確立、避難誘導、住民の安否確認の訓練などを実施し、地域住民の防災意識を高め、いつ起きるかわからない災害へ備えることを目的に行なわれました。  
訓練は、阿仁川上流部と小又川上流部に集中豪雨が 발생し、両河川とも急激に増水し、人家に被害を及ぼす恐れがあるため、地域住民をクウンス森吉に避難誘導するという想定で行なわれました。参加した住民は真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



▲齋藤代表理事らが、スイッチを押しカントリーエレベーターを稼働

収穫期に向け、待望の施設が完成  
～北秋田広域カントリーエレベーター竣工式～  
北秋田広域カントリーエレベーターの竣工式が9月23日、米内沢字大沢地内の同施設内で行なわれ、関係者約120人が参列し、神事と稼働式を行ない完成を祝いました。  
同施設は、農事組合法人北秋田広域カントリーエレベーター利用組合(齋藤祐一代表理事)が管理運営を行ないます。施設内には、約3000トンを貯蔵できるサイロや、粃を劣化させないサイロ冷却装置、米粒食味値を活用できる自主検査設備などの最新設備を備えています。  
神事では、岸部市長らが玉ぐし奉てんし、施設運営の無事を祈りました。その後、稼働式が行われ、齋藤代表理事らが稼働スイッチを押し、施設内の機械を稼働させました。



▲ヤナ漁など5つの伝統漁法を体験した「親子で川漁体験！」

ヤナで飛び跳ねるアユに歓声  
～鷹巣漁協「親子で川漁体験！」～  
北秋田市鷹巣漁業協同組合湊屋啓二組合長が主催する「親子で川漁体験！」が9月21日、鷹巣地区・脇神橋下流の小猿部川で開かれ、約70人の親子がヤナ漁や定地網での川ガニ漁などを体験しました。  
漁協組合員が川に仕掛けた定地網を引き上げ、かかったアユやウグイ、オイカワなどを水槽に移すと、子どもたちは興味津々で魚たちに見入っていました。  
この後、順番にヤナ漁を体験。ヤナ漁は、川を柵で堰き止めて、すのこ状の仕掛けにアユを乗り上げさせて捕らえる伝統漁法です。子どもたちは、水辺にピチピチはねるアユを捕まえて大歓声を上げていました。